

旧約を読む会9/19	1	9	10
野村港南台集會9/20	1	5	6
入門講座9/21	2	8	10

### 一牧師室から一

沖縄で小学生の女の子が米兵三人から暴行を受けた。米兵たちは基地に逃げ込み、日本の警察は逮捕できない。日米地位協定が、起訴されるまで身柄を引き渡さなくてもよいとしているからである。この不平等な条約の見直しを、外務省は渋っていたが、沖縄県民の怒りと国民世論に押され、見直しの検討を始めようとしている。日米安保条約・「核の傘」が不平等を当然としてきた。

沖縄は戦後50年、今回のような被害を繰り返して受けてきた。本土復帰から20年間だけでも、米兵による凶悪事件は、約500件発生しているという。加害者が本国に送還され、その罪を問えない

状況もあった。

一昨年の夏、青年会員と沖縄研修旅行に行った。沖縄は「基地」の島であることがよく分った。一等地を米軍が占有し、その米軍の演習地と県民の生活の場が交錯している。演習の流れ弾が民家に飛んてくる。鉄板にジープを乗せて落下傘で降ろす演習中、農作業をしていた人がその下敷きになって死んだ。戦闘機の離発着で爆音は絶え間ない。戦時でなくても、戦時下のような生活が強いられている。沖縄は戦中も戦後も大きな被害を受けながら、本土の安泰を支えてきたが、今なおそうである。

今回のような事件は、まず日米地位協定の改正が急務だが、基地が存続するかぎり続くであろう。私は、人を殺すことを目的とするところでは心の荒廃は避けられないのではないかと思う。

強い者は弱い者の痛みは分らない。体も心もボロボロになった少女の痛みをできるだけ共有したい。そこからのみ、一步一步、小さくても人権と平和と正義が獲得されていく。

## 週報

1995年9月24日 聖霊降臨節第17主日

巻16

26号

1995年度教会主題

「恵みに生きる」

聖句 すると主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」と言われました。

コリントの信徒への手紙 二 12章9節a

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集會を守る。
  2. 一人一人が伝道と奉仕を。

日本キリスト教団

横浜港南台教会

〒234 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電話 045-833-5323

ファックス 045-833-6616

振替 00290-4-13994

牧師 秋吉隆雄